

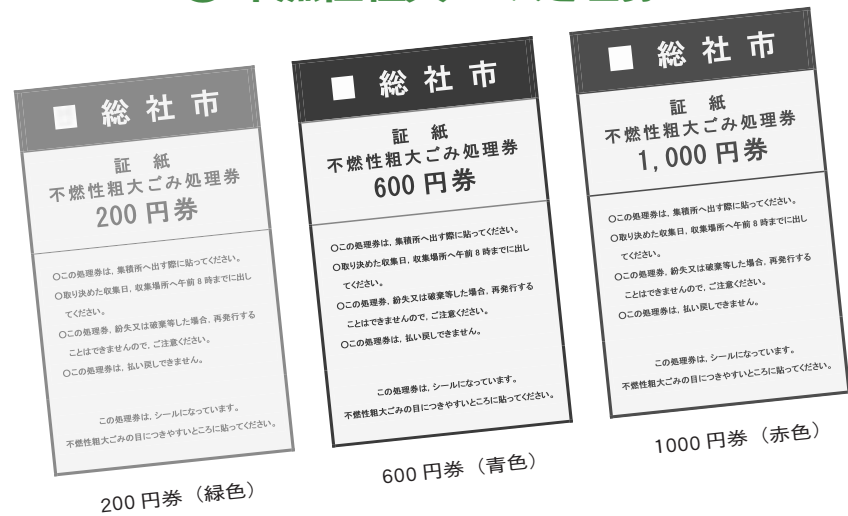
## 不燃性粗大ごみは、「不燃性粗大ごみ処理券」を貼って！

4月1日から、不燃性粗大ごみを出す場合は、不燃性粗大ごみ処理券を購入し、不燃性粗大ごみに貼って集積所に出してください。このごみ処理券を貼っていないものは収集しません。処理料金は、次のページの不燃性粗大ごみ処理料金一覧表のとおりです。なお、不燃性粗大ごみ処理券は、200円、600円、1000円の3種類です。

粗大ごみの収集は、従来どおり不燃性の粗大ごみだけです。可燃性粗大ごみ（木製、プラスチック製など）は吉備路クリーンセンターへ直接搬入してください。詳しくは、環境課ごみ対策係（☎8338）までお問い合わせください。  
[不燃性粗大ごみ処理券の販売場所]

環境課ごみ対策係、各支所・出張所

### ● 不燃性粗大ごみ処理券



※吉備路クリーンセンターへごみを直接搬入する場合は、「不燃性粗大ごみ処理券」を貼る必要はありません。ただし、処理手数料、10kg当たり30円が必要です

## 燃やせるごみ・燃やせないごみは、総社市指定ごみ袋に！

4月1日から、一般家庭ごみは市の指定ごみ袋で集積所に出してください。ただし、6月30日までの3か月間は、従来の透明・半透明の袋（旧清音村の地区に配布されている指定袋を含む）が使用できます。これは、市民の皆さんへの周知期間と従来の袋の消費期間です。7月1日以降は完全実施となりますので、市の指定ごみ袋以外で出されたものは収集しません。

市の指定ごみ袋の価格は、次のとおりです。（燃やせるごみ・燃やせないごみ共通）

- ・20ℓ袋・・・10枚入り 200円（20円/枚）
- ・30ℓ袋・・・〃 300円（30円/枚）
- ・45ℓ袋・・・〃 500円（50円/枚）

資源ごみを袋に入れて出す場合は、従来の透明・半透明の袋を使用してください。

[指定ごみ袋の販売場所]

環境課ごみ対策係、各支所・出張所、市内の商店など

### ● 指定ごみ袋



※吉備路クリーンセンターへごみを直接搬入する場合は、市の指定ごみ袋を使用する必要はありません。ただし、処理手数料、10kg当たり30円が必要です

◎ 不燃性粗大ごみ処理料金一覧表は次のページをご覧ください。

▼ワンポイント・アドバイス 家庭から出る燃やせるごみのうち、約47%が紙類です。紙類は回収して再生利用できる大切な資源。新聞や広告はもちろん、包装紙、紙箱なども古紙の収集日や廃品回収に出して、紙の再生利用にご協力ください。ティッシュペーパーやクッキングペーパー以外の大部分の紙は再生利用できます。▼ダイレクトメールなどの封筒やティッシュペーパーの箱は、ビニール部分を取って出してください（刃の部分は燃やせないごみへ）。▼メモ紙などの小さいものは封筒などに入れ、雑誌にはさんで出してください。

### 施設への直接搬入

直接搬入の場合には、市の指定ごみ袋や不燃性粗大ごみ処理券を貼る必要はありません。ただし、各施設で処理手数料が必要です。

#### ● 吉備路クリーンセンター

木製機、タンスなどの可燃性粗大ごみ、家庭から出る多量ごみ（50kg以上）などは収集しませんので、直接搬入してください。

場所 倉敷市真備町箭田481

搬入日時 平日（月～金）、午前9時から午後4時まで、第1、3、5土曜日、午前9時から11時まで

処理手数料 10kg当たり30円

電話 ☎3774

#### ● 一般廃棄物最終処分場

土砂、かわら、ブロック、コンクリート片、焼却灰などは収集しませんので、直接搬入してください。

場所 下倉3784

搬入日時 平日（月～金）と第1、3日曜日、午前9時から午後4時まで

処理手数料 10kg当たり20円、ただし、50kg以下は無料

電話 ☎2130

お問い合わせ 環境課ごみ対策係

☎8338

### 目標は1週間に1〜2袋

現在皆さんのご家庭では、1週間にごみ袋を幾つ出していますか。平均すると、1家庭で1週間に3袋のごみ袋が出されています。つい「何でもごみ箱へ」となっていますか。正しい分別をして、1週間に1〜2袋のごみ出しを目標に、ごみの減量にご協力ください。

### ◎ ごみの具体的な減量方法

- 資源ごみ（空き缶、空きびん、古紙、古布、ペットボトル、白色トレイ）は、月ご一回の収集日に出してください
- 新聞、広告チラシ、雑誌、その他の紙、ダンボール、古布、空き缶などは、各地区や団体が実施している「ごみ減量化推進団体」などの集団回収に出してください
- 買い物袋（マイバッグ）を利用して、いらぬものは家庭に持ち込まないようにしましょう
- 生鮮食品は、トレイやパックに入ったものではなくバラ売りのものを、洗剤やシャンプーは、詰め替え用の商品、飲み物ならペットボトルや缶よりも、繰り返し使用できるリターナブルびんを選ぶなど、容器包装のごみが出ない買い物の工夫をしましょう
- 家具や家電、本、CD、衣類、生活雑貨など、使えるものは身近に使ってくれる人がいないか探してみよう。いなければ、古本屋やリサイクルショップに持ち込んだり、フリーマーケットに出店する方法もあります。また、市の生活用品交換銀行に登録する方法もあります
- 生ごみの水はよく絞って出しましょう。また、市が無料配布しているポカシでたい肥を作って、有効に循環しましょう